

研修NO.

17-06

フレキシブルな生産体制のつくり方

対象者

経営幹部
管理者
新任管理者等

生産管理実践編

研修のねらい

「必要なモノを、必要な時に、必要な数量だけ」欲しいという顧客からのニーズにより、受注の多品種化および短納期化はますます進み、製造の現場では生産計画の複雑化がますます進行しています。

この研修では、日程計画の実務として、負荷調整や進捗管理などを学んだうえで、自社のフレキシブルな生産体制づくりについて検討していただきます。

このような方におすすめ

- ★現場で活かせる生産管理手法を身に付け、生産性の向上を目指したい方
- ★自社の生産現場を改善するためのIE技法を身に付けたい方
- ★短納期を実現するため、効果的な日程計画を立案したい方

受講生の声

- ◆生産管理とは、現場だけではなく工場すべての管理であり、もう少し自分の視野を広げる必要があると気づかされました。
- ◆5日間の日程の長さを感じさせない内容の濃い研修でした。

実施期間 全5日間

前半 2017年5月23日(火)～
25日(木)後半 2017年6月14日(水)～
15日(木)

研修時間 36時間

定員 30名

受講料 50,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
5/23(火) 9:40～18:10	1. 生産管理(生産計画と統制)体系と考え方 2. 中日程計画と小日程計画の立て方に関するケース(演習)	●生産管理の体系と製品特性に応じた生産計画の仕方、統制の仕方についてその考え方を解説します。 ●日程計画の立て方の実務について、ケースを使いながら習得します。
5/24(水) 9:00～18:00	3. 生産リードタイム短縮法(演習)	●生産リードタイムを短縮する取り組みの、改善ポイントや、具体的な改善法について講義と演習を通じて習得します。
5/25(木) 9:00～16:30	4. IE手法による段取り改善、工程改善(演習)	●IEの手法について体系的に解説するとともに、生産リードタイムに関連が深い段取り改善や、工程改善等について、演習を通じて習得します。
(インターバル)		
6/14(水) 9:40～18:10	5. 飛び入り、特急品の取り扱い方(演習)	●日常的に発生する、飛び入り受注や特急品を生産に組み込む場合の考え方や留意点について、講義と演習を通じて習得します。
6/15(木) 9:00～16:30	6. 自社課題解決(演習)	●自社の生産計画と統制の再構築と生産リードタイムの短縮について、具体的な活動計画を立案します。

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶ 植條 英典 (うえじょう ひでのり)

株式会社 実践マネジメント研究所 代表取締役

中堅家具メーカーの経営企画室にて経営管理業務に従事した後、中村技術士事務所に入所し、平成16年に実践マネジメント研究所を設立。生産管理、生産性向上対策、管理者育成、品質改善、5S改善を中心に全国各地でコンサルタント活動を行う一方、中小企業大学校、日本IE協会、大阪府工業協会、兵庫工業会、四国生産性本部、各地の商工会議所、海外研修(マレーシア)等でのセミナー講師としても活躍中。モットーは、「ご安全に!」「不易流行」「知覚動考」